

# 岐阜県 中小企業情報

2012  
4・5

VOL.618

■発行:2012年5月25日



就職マッチングフェア

## 目次

特集 中央会理事会を開催	2~3
中央会の動き	3~4
組合等の動き	4~5
青年中央会通信	5
4月の景況レポート	6~7
会員組合紹介	8
専門家's EYE	9
再生可能エネルギー固定価格買取制度	10
事務局だより	11
組合等ブラッシュアップ支援事業等のご案内	12

### 事務所移転のお知らせ

中央会は、本年7月1日より、事務所をふれあい福寿会館8階から、同会館9階に移転いたします。

[発行所]

### 岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館(ふれあい会館)8階  
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930  
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

中央会は、理事会及び役員意見交換会を4月26日にグランヴェール岐山で開催した。

理事会の中で、辻会長より「平成24年度は、県の財政状況が非常に厳しい中、中央会事業費補助は昨年と同額を確保できた」と報告があった。新規加入組合、第57回通常総会への提出議案、通常総会の日時の審議が行われ、すべて原案どおり可決決定された。

新規加入組合は次のとおり（平成23年11月28日～平成24年4月25日まで）。

※（ ）内は所在地、組合員数。

▽技能者支援事業（協）（岐南町、32名）

議案審議の後、中部経済産業局資源エネルギー環境部の飯田浩エネルギー対策課長補佐が「再生可能エネルギー固定価格買取制度」について説明を行った。続いて、意見交換会に移り、業界の現状・課題等について意見が述べられた。意見等の要旨は以下のとおり。（発表順）



### 岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ 加藤智子会長

現在、当クラブには45名の会員がいるが、組合女性部はわずかで、あとは個人会員である。組合に女性部があるところが少ない。ぜひ各組合で、女性部の発足を願いたい。

### 岐阜県管設備工業（協） 渡邊松雄理事長

国内の電気関係のメーカーは軒並み赤字。韓国のサムスンには、日本人技術者のハンティングを行っている。また、製造に関しては良いものを安くというスタンスだが、決してモノが悪いわけではなく良いものを作っている。最終的には顧客の満足度をどう高めるかが基本ではないかと考える。また、今の子供たちは意欲に欠けている。日本を背負っていくのはこれからの若者である。今は「学歴」ではなく「学力」であり、積極性、責任感、コミュニケーションの3つが必要である。

### 岐阜県鋳物工業（協） 松原光好理事長

当業界は、岐阜県だけで見ると元気である。先日、富山県で中国人の大学教授が「中国人に欠けているのはイノベーション、改善、革新であり、これらについては日本人に勝てない」と話していた。この点で日本の企業も頑張ってもらいたい。

### 岐阜市商店街振興組合連合会 古川洋治理事長

柳ヶ瀬の中を歩いていくと、一番賑やかでなければならぬのに寂れて見える。岐阜市は、まちなかを居住空間にして、そこの商店街で買い物をしてもらおうと進めているが、買い物には足が向かないのではないかと。2、3年前から地産地消として連合会で商品開発して、今後は連合会でB級グルメの新しいメニュー作りに取り組む。

また今年も、連合会で顧客をつかみ、それを各店に紹介し、注文を取ってもらったものを一括して宅配する会員制の宅配事業を計画している。柳ヶ瀬では、ドン・キホーテが出店した以降も空き店舗が増えている。その対応策として、今年から大学と高校のコンソーシアムの協議会を立ち上げ、空き店舗を若い人の力で開発しようと考えている。

### 岐阜県銘木（協） 籾 政廣理事長

当業界では銘木価格の値下がりによって困っている。全国にある9つの協同組合の市売事業は非常に疲弊しているが、その中にあるのは、岐阜は一番元気である。しかし状況は悪く、過去には120億円ほどあった売上も、昨年は14億7,000万円に落ち込んだものの、売上高は全国一である。日本全国から良いものを集めており、「銘木は岐阜にしかない」という意気込みで頑張っている。

### 岐阜県中小企業青年中央会 西松 敦会長

昨年の青年部長ガヤガヤ会議では、青年部の活動の活性化を目的に、過去に青年中央会会長を務められた岐阜県砕石（工組）の小西理事長、丸重製紙（企）の辻理事長から、理事長としての現在の想いを話していただき、非常に有意義であった。今年の新事業は、辻正会長の会長訪問のように、未加入の組合青年部を中心に、会長、副会長が訪問し、青年部の加入促進を図る。

### 岐阜県酒造（協連） 中島善二理事長

岐阜県だけで販売していても売上が増えないため、3年前から年1回、東京で試飲会を開催している。これにより岐阜県の酒が浸透しつつある。岐阜県の酒は、品質は素晴らしいがなかなか売れないため、中央会の指導のもと、販路を拡大していきたい。また、2年前から岐阜市のじゅうろくプラザでも試飲会を開催している。インターネットで来場者を募集したところ、ほとんどが20～40歳代で、若い人の関心が高かった。今年も7月にじゅうろくプラザ、9月に東京での開催を予定している。組合の課題は収入源がなくなってきていることであり、組合活動を採算ベースに乗せるための良い知恵があれば教えていただきたい。

### 丸重製紙（企） 辻 守重理事長

和紙の世界は地味だが、なくなることはないと思う。手すきは減る一方である。お茶を嗜む人が減り、和の文化が若者から敬遠されているが、外国人が関心を持っている。透かしも小ロットで多品種になった。販売方法は、足で営業する時代から、流通を飛ばして情報をインターネットで収集してピンポイントで顧客に営業をかけるようになった。また、和紙を求めている人は、和紙がどこで売られているかわからずインターネットで調べて注文してくるため、1枚売りでも対応する方向である。

### 岐阜県砂利（協） 高橋 徹理事長

骨材は、平成2年頃は全国で約9億t使用されていたが、現在は40%に落ち込み、約4億t強である。岐阜県ではピーク時の約30%に減り、多くの会社が廃業している。さらに、河川の砂利が採れなくなってきているため田を掘って採取しているが、それも徐々に減ってきているため、今後、必要な資材の供給に支障が出るのではないかと問題視している。現在は、天然の砂利・砂に代わり砕石や石灰石が使用されるようになっているが、良いコンクリートを製造するためには、天然の砂利・砂は欠かせない。

### 岐阜県菓子(工組) 小森文夫理事長

今は目先のメリットにこだわる若者が多い。昔は、菓子業界のような伝統産業は、技術力を高めるための修行であったが、今は、学校卒業者に初めから最低賃金を超える給料を払わなければならないことを疑問に思う。固定費の大半が人件費であり、これが採用のネックになっている。

### 岐阜県金型(工組) 黒田 隆理事長

県内には金型企業が約380社あるが、そのほとんどが従業員10人以下である。金型業界もグローバル化への対応を求められているが、小規模の企業では海外展開は難しい。このため、組合で海外視察を企画しており、アジア諸国の金型業界の実情を見て、今後どうするかを判断することになっている。日本よりも低賃金の国と競争して受注を確保するためには、1社だけで受注していくのか、複数企業が協力して、その中の1社が先頭に立って受注していくのか、どちらかだと考える。中国やタイでは、国の方針として国内企業の支援のために企業に補助金を出すなど、内需の拡大に必死である。日本では、海外進出する企業を支援しているため、企業が海外へ出て行ってしまう。行政はこうした状況をしっかり把握して中小企業施策を打ち出すべきである。

### 岐阜県眼鏡商業(協) 木方伸一郎理事長

柳ヶ瀬のメガネ店は生き残っている。我々はメガネを売るだけではなく、その人に合わせたメガネを作らなければならない。組合員60人のうち9割が家族経営である。また、後継者はいるが、二世代の家族を1店舗で養うのは厳しいため、まず他の専門店で修行に行かせて、親が引退する時に子供に事業承継しようと考えている人が多い。また、今は、商売好きの人が商売をしていることが少なく、ただ単に稼ぐために商売をしている人が多いと感じる。売商品が好きで、それを売って稼ぐことの楽しさを感じられる世の中になることを望む。

### 関金属工業(協) 兼松誠吾理事長

関の刃物も中国製品に押されている。海外には進出しないという企業もある。ここ1、2ヶ月の間に100万本売れた製品が3点あるが、いずれも従業員が3~5人の小さな会社の製品である。業界では、電気料金の値上げや、後継者不足のた

め技術の継承が難しくなっているのが課題。また、1、2社で生き延びるのではなく、業界全体で生き延びようという考え方に変わってきている。昨年、「SEKI」というブランドを構築し、日本全国や世界に広めるようにPRしている。

### 物流ネットワーク中部(協) 大野秀穂理事長

物流関係の組合は全国に約155組合あり、加入企業数は約2,600社ある。全国の運送組合と連携し、県内だけでなく全国を活動範囲に、インターネット端末を活用して効率的な荷物の運送業務を行っている。運送業界は、何十年か前の運賃に戻ってしまったが、まだ何とか経営していける状態なので今後もがんばっていく。

### 岐阜県異業種グループ交流推進協議会 大久保為芳会長

30年前は異業種の企業が連携して、グループを立ち上げたが、その後、国の施策が転換されたことで、グループの数が徐々に減り、現在、当協議会は4グループ70社程になってしまった。中小企業1社ではなかなかアイデアが出ないため、良い知恵を持った企業と連携して新しいものづくりに取り組む発想は重要である。

### 川崎岐阜(協) 市原敬夫専務理事

現在、ボーイング787、777の量産に入っている。今年の決算では昨年比5%増の146億円の売上があった。組合の財政も豊かで、組合員には2,300万円ほど還元することができた。売上や受注も明るい見通しが出てきたが、問題はコスト競争。韓国のものづくりはコストが安いので、韓国との競争が今後の課題である。

### 岐阜県毛織工業(協) 山田幸士専務理事

昨年、組合員の中の4社が、県の補助を受けて上海の展示会に出展し、中国にはない日本の手の込んだ古い織機で作った生地を売り込み、これが評価され始めている。中国ではコストの関係でうまくいかないだろうと言われていたが、展示会への出展がきっかけで取引が始まり、先日、1,000万円ほどの売上があった。この生地は日本のアパレルには合わないが、中国のアパレルに合うという全く予想しなかった展開になっている。



中央会は、4月24日に「就職マッチングフェア(合同就職説明会)」をじゅうろくプラザで開催した。同フェアは、昨年度に続き2回目で、今年度は県の助成を受けて開催した。厳しい就職情勢が続く中、優秀な人材の採用を目指す企業と、就職希望者の出会いの場を創出し、地元企業への就業機会の拡大と県内企業の雇用の拡大を目的としている。2013年3月卒業予定の大学生や短大生、専門学校生のほか、卒業後3年以内の求職者を対象とし、167人(男性92人、女性75人)が訪れた。

県内の製造業、卸・小売業、サービス業、情報通信業や建設業の27企業が出展し、参加した学生は関心のある企業ブースに足を運び、担当者から事業内容や採用条件等の説明を熱心に聞いていた。また、今回は、就職情報の提供、求人・採用活動に関するコンサルティングを行う機関である岐阜県人材チャレンジセンターやハローワークのブースを設け、参加者の就職活動に対するアドバイス等が行われた。

当日参加した学生は「岐阜県の企業に就職を希望しているため参加した」「出展企業の採用意欲を感じた」「食品関係の企業の話が聞きたい」等との声があった。また、出展企業からは、「多くの学生と面談できた。自分が就職したい業界を絞り切れていない学生が多かったが、自社の業界への就職につながることを期待している」などの意見があった。

## 中小企業組合関係税制研修会を開催

中央会は、「中小企業組合関係税制研修会」を、今年は3月21日にふれあい福寿会館で開催し、組合役職員39名が参加した。この研修会は、組合や中小企業に関係する中小企業関係税制と、税制改正の概要について解説するもので、毎年開催している。研修会では、講師の森靖税理士が、中小企業組合関係税制の内容と平成24年度税制改正大綱について、「中小企業組合関係税制のあらまし」に基づき解説を行った。

組合に関する特別税制として、協同組合の法人税率が今年4月1日から開始される事業年度においては22%から19%（年800万円以下の所得については18%から15%）に引き下げられるほか、震災の復興財源確保のため、今年4月1日以降3年間は引下げ後の法人税額に10%の付加税が上乘せされることなど、わかりやすく解説。その他に、中小企業の交際費課税の特例など、平成24年度の税制改正の概要についても解説した。



## 地域サービス業セミナーを開催

中央会は、旅館・ホテル業を対象とした「地域サービス業セミナー」を3月21日に岐阜市、22日に高山市で開催した。

このセミナーは、旅館・ホテル業の集客力の向上を目的に開催。旅館・ホテル専門のコンサルタント会社である株式会社リョケンの佐野洋一専務取締役を講師に招き、「旅館・ホテルにおける集客戦略の事例と提案～個人旅行客の獲得と多様化するニーズに応えるために～」と題して講演を行った。

佐野氏は、旅館・ホテル業が置かれている現状を説明した上で、「ネット予約サイトのお客はリピーターにはなりにくいため、これに頼るのではなく、自社ホームページで予約を獲得する“ネット直販”に力を入れるべき。また、最近普及しているフェイスブックやツイッター等のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の活用も、口コミ効果が無限に拡大するため、不特定多数の人が自社にたどり着く可能性があり、有効である」と説明。集客に成功している事例を挙げながら、これからの集客戦略のあり方等についてアドバイスがあった。



## 組合等の動き

### 災害時の機材提供で協定 岐阜県管設備工業協同組合（渡邊松雄理事長）

岐阜県管設備工業協同組合は、3月21日に大阪府茨木市の大手重機レンタル会社「キャタピラーウエストジャパン」と、災害時にレンタル機材の優先提供を受ける協定を締結した。

この協定は、地震等の災害が発生した際に、ライフラインである水道の早期復旧のためには重機の確保が不可欠であることから、油圧シャベルや運搬機械等のレンタル機材の優先提供を受けるために締結された。これにより、災害時には同社の岐阜、西濃、東濃、高山の4拠点を通して組合員に機材が貸し出される。

同日、県管設備会館で締結式が行われ、渡邊理事長は「災害時に、ライフラインの1つである水道の早期復旧は非常に重要。今回の締結は、我々組合員が早期復旧のために動けるための体制づくりとして意義深い」と話している。



### 美濃和紙を消費者に直接販売 丸重製紙企業組合（辻守重理事長）

丸重製紙企業組合は、4月29日に「第0回美濃和紙まつり」を美濃市のポケットパークで開催した。

このまつりは、美濃和紙を消費者に直接販売する場をつくることを目的に、同組合の辻見一専務理事が若手の和紙職人やメーカーに呼びかけて今回試験的に開催した。まつりでは、和紙を裁断した際に出る断ち端の「和紙の耳」詰め放題、和紙の書き比べ体験が行われたほか、便箋、あぶら取り紙や提灯用の和紙など40種類の商品が販売された。会場には約150人が来場し、様々な和紙の感触を確かめながら品定めしていた。

辻専務理事は、「直接消費者の反応を見ながら販売したことでニーズが把握でき、今後の参考になった。将来的には、和紙業界が一体となって開催することを考えており、これをきっかけに和紙のPRと業界の活性化につなげたい」と抱負を話していた。



## 「香港ハウスウェア・フェア」への出展、視察

瑞浪陶磁器工業協同組合（河口 一理事長） 肥田陶磁器工業協同組合（楓 和夫理事長）

瑞浪陶磁器工業協同組合は、4月20日から4日間、香港コンベンション&エキシビジョンセンターで開催された『香港ハウスウェア・フェア』に出展した。

このフェアは、約30の国と地域から2,000社を超える出展者が集まり、陶磁器を始めホームアクセサリ、リビング関連商品などが出展され、世界各国から24,000人を超えるバイヤーが参加する展示会である。

組合が同フェアに参加するのは、昨年につき2回目で、瑞浪市の販路開拓支援事業の補助金を活用し、組合員5社が出展。約45㎡のブースに『みずなみ焼』の商品を展示し、多くの海外バイヤーらに商品のPR・提案を行い、商談も進められた。河口理事長は「多くのバイヤーがブースを訪れ、昨年以上の契約が見込まれる。今後の販路拡大にも期待がもてる」と話しており、手応えを感じている。

また、肥田陶磁器工業協同組合は、土岐市の中小企業販路開拓支援事業の補助金（申請中）を活用し、4月19日から5日間、中国への海外研修を行った。この研修は、陶磁器製品の国内需要が低迷する中、中国市場への販路を見出すことを目的に行われ、組合員12名が参加した。同フェアの視察のほか、企業視察として広東省深圳市の陶磁器製造販売店の「永豊源」、生活関連商品販売店の「順電」を視察し、中国での売れ筋商品等を探った。楓理事長は「今回の海外研修を足掛かりに、将来に向けて、組合として中国市場の販路開拓に取り組んでいきたい」と抱負を話していた。



瑞浪陶磁器工業(協) 出展ブース

## 「飛驒の家具」PR冊子を発刊 協同組合飛驒木工連合会（岡田賛三理事長）

協同組合飛驒木工連合会は、このほど、組合が平成19年度に登録した地域団体商標「飛驒の家具」のブランド化を進める取り組みを分かりやすく解説した小冊子『飛驒の家具ものがたり』を発刊した。

この小冊子は小売店、代理店、ハウスメーカーや消費者に対して「飛驒の家具」ブランドを広くPRすることを目的に発刊された。「安全、安心の基準」「飛驒の家具の歴史」「手入れの方法」の3部構成となっており、A5版48ページ、1部210円で、2万部を作成。6月1日から飛驒の家具を取り扱う全国の小売店やハウスメーカーの店頭に並ぶ予定となっている。

## 信濃中央青年会

## 新会長に林氏（岐阜県舞台設備管理事業（協）青年部）を選任

岐阜県中小企業青年中央会は、5月10日に「第38回通常総会」をホテルパークで開催した。

総会では、平成23年度事業報告や収支決算をはじめ、平成24年度事業計画及び収支予算などを審議し、いずれも原案どおり可決・承認された。

また、任期満了に伴う役員改選も行い、会長として1期2年を務めた西松敦氏が退任し、新会長には岐阜県舞台設備管理事業（協）青年部の林 繁良氏を選任した。林会長は、就任のあいさつで「青年中央会の事業や活動等の内容をより一層充実させ、組合青年部や青年部員に大きな効果をもたらすことができるような事業を展開していきたい」と今後の抱負を話した。

また、副会長に新任2人を含む5人を選出し、理事並びに監事とともに役員一丸となって、新しい体制の下に青年中央会の事業活動を進めていくこととなった。

平成24年度は、昨年度に引き続き「組合の次代を担う青年部。今こそ青年部の活性化を！」をキャッチフレーズに、①組合青年部活動への支援、②会員相互の連携による新たなネットワークの構築への支援、③青年中央会、組合青年部活動等のPRに重点を置き、各事業を行うこととしている。

なお、新役員並びに総会については、

ホームページ（<http://www.chuokai-gifu.or.jp/seichu/>）をご覧ください。



林 繁良 新会長

岐阜県中小企業青年中央会 会員募集中!

当会の詳細やお問い合わせ、加入希望の組合青年部は、中央会・国際チーム (058-277-1102) まで。

# 景況レポート

平成24年  
4月末  
調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報  
連絡員70名(うち70  
名分の集計)の情報  
連絡票から

## (I) 4月の特色

- ◆景況感DI値 マイナス15  
～前月比10ポイントの改善～
- ◆景況感DI値がマイナス10台となるのは、  
平成18年10月末調査結果以来、5年6か月ぶり
- ◆主要調査項目の中では、販売価格DI値の  
改善幅が大きい

## (II) 4月の概況

当月の景況動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転10、悪化25でDI値はマイナス15となり、前月のマイナス25に対し、10ポイントの改善となった。業種別に見ても、製造業で9ポイント、非製造業でも9ポイントそれぞれ改善した。

なお、景況感DI値としては、本年1月末調査結果(マイナス51)より3か月連続の改善であり、そこからの改善幅も36ポイントとなっている。

また、景況感DI値がマイナス10台となるのは、平成18年10月末調査結果(マイナス14)以来、5年6か月ぶりとなる。

当月の調査結果の集計対象である70業種のうち、景況感が「好転」と回答した業種は製材、紙加工品、メッキ、輸送用機器、中古自動車販売、木造建築、軽運送の7業種(前月比-2業種)、景況感が「悪化」と回答した業種は18業種(前月比+8業種)となった。

そこからみると、「悪化」の方向性がより弱まったことが、当月の景況感DI値の数値改善の要因とも言える。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値は前月比5ポイントの改善、販売価格DI値は前月比12ポイントの改善、収益状況DI値は前月比8ポイントの改善、資金繰りDI値は前月比7ポイントの改善と、種要調査項目全てにおいて改善の結果であるが、特に販売価格DI値の改善幅が大きくなった。

コメントを見ると、製造業では、自動車関連産業よりエコカー補助金の影響から「仕事量増加」、「売上回復」との報告があった他、航空機関連産業でも「受注量増加」、「概ね好調」といった内容が見られるなど、一部業種での好調さが目立つ。

一方で、全体としては、長引く円高、原油価格の高騰や原材料価格の高止まりなどで、収益が圧迫(悪化)しているとした内容や、先行きに対して今夏の電力供給の制約や値上げを懸念する声もあり、景況感は依然として慎重な見方が多い。

非製造業では、商店街より春のイベントシーズンを受けて、「活況が出て

きた感がある(岐阜市商店街)」、「各商店で活気が見られた(大垣市商店街)」のコメントがあった他、観光関連産業からは、「個人やグループ旅行の宿泊が好調(長良川畔旅館)」、「宿泊者数が持ち直してきた(高山旅館)」といった報告があった。また、建設業からは、新年度も公共事業予算の削減を見通したうえで「不透明感は増幅している(生コンクリート)」、「経営の方向性が見出せない(土木(岐阜地区))」、「発注は期待できない(建築設計)」といった報告が寄せられている。

### <主な調査項目での動向>

**売上高の動向**は、前年同月比で増加27、減少30でDI値はマイナス3となり、前月のマイナス8に対し、5ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は19業種あり、菓子、製材、銘木、家具・装飾品、特殊紙、紙加工品、タイル、石灰、砕石生産、メッキ、可児工業団地、輸送用機器、中古自動車販売、共同店舗(飛騨)、長良川畔旅館、高山旅館、広告美術、鉄構造物、電気工事となっている。

増加と回答したコメントには、「新築残に加え、補修・改修案件がある(タイル)」、「輸送機器関連業種は概ね好調(可児工業団地)」、「売り出しが好調であった(共同店舗(飛騨地区))」、「海外からの観光客が増加傾向(高山旅館)」といった内容などがあつた。

売上が減少した業種は21業種あり、特に食料品に多い。

**販売価格の動向**は、前年同月比で上昇12、低下20でDI値はマイナス8となり、前月のマイナス20に対し、12ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は9業種あり、牛乳、プラスチック、タイル、石灰、可児工業団地、青果販売、石油製品販売、生花販売、鉄構造物である。販売価格が低下した業種は14業種あつた。

**収益状況の動向**は、前年同月比で好転14、悪化40でDI値はマイナス26となり、前月のマイナス34に対し、8ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は10業種あり、菓子、ニット工業、家具・装飾品、紙加工品、輸送用機器、中古自動車販売、長良川畔旅館、下呂温泉旅館、広告美術、軽運送である。

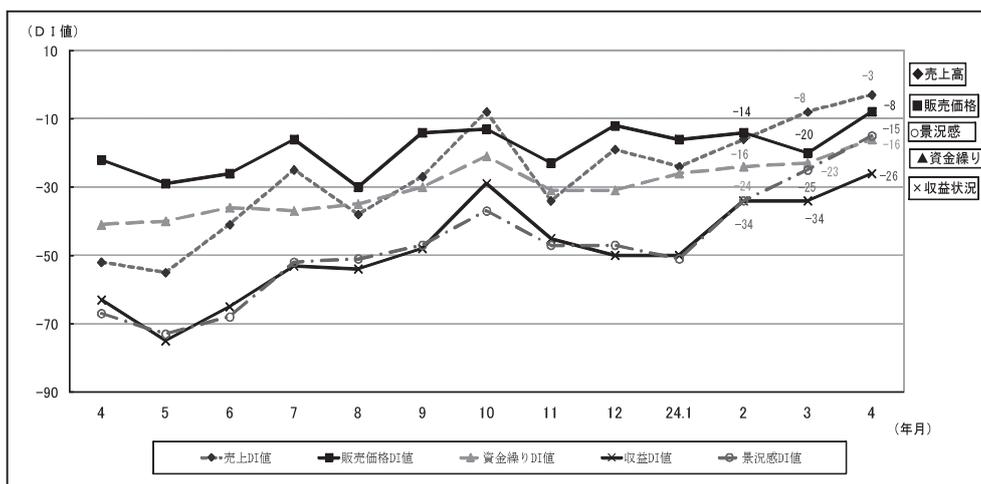
収益状況が悪化した業種は28業種あり、特に一般機械、卸売業、小売業、建設業に多い。

**資金繰りの動向**は、前年同月比で好転4、悪化20でDI値はマイナス16となり、前月のマイナス23に対し、7ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は3業種あり、家具・装飾品、可児工業団地、輸送用機器となっている。

資金繰りが悪化した業種は14業種あつた。

## 売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



# 県内中小企業主要業種の景気動向

(4月末調査)

製造業		前年同月比						
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
	肉(国産)	▲	△	▲	△	△	▲	
	菓子	○	△	○	△	▲	△	
	米	▲	△	△	△	△	△	
	麺	△	△	△	△	△	△	
繊維・同製品	糸	△	△	△	△	△	△	
	ニット工業物	△	△	○	△	○	△	
	毛織物	▲	△	▲	△	△	△	
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△	
	メンズアパレル	△	△	△	△	△	△	
	婦人・子供服縫製(既製服)	▲	▲	▲	▲	△	▲	
木材・木製品	製材	○	△	▲	△	△	○	
	銘木	○	△	△	△	△	△	
	家具・装備品	○	△	○	○	△	△	
	東濃ひのき	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
紙紙加工品	機械すき和紙	△	△	△	△	△	△	
	特殊紙	○	△	△	△	▲	△	
	紙加工品	○	△	○	△	△	○	
印刷	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
化学ゴム	プラスチック	△	○	△	△	△	△	
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	△	△	△	△	△	
	タイル	○	○	△	△	△	△	
	窯業原料	△	△	▲	▲	△	△	
	石灰	○	○	▲	△	△	△	
	生コンクリート	▲	△	△	△	△	△	
	砂利生産	▲	△	▲	△	△	△	
	砕石生産	○	△	△	△	△	△	
鉄鋼・金属	鋳物	▲	△	▲	▲	○	▲	
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	▲	△	△	△	
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△	
	メッキ	○	△	△	△	△	○	
一般機械	県金属工業団地	△	△	△	△	○	△	
	可児工業団地	○	○	▲	○	○	▲	
	金型	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
輸送用機器	輸送用機器	○	△	○	○	○	○	

非製造業		前年同月比						
区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
陶磁器産地卸	▲	△	▲	▲	△	▲		
機械・工具販売	△	△	△	△	△	△		
小売業	青果販売	▲	○	▲	△	△	▲	
	水産物商業	△	△	△	△	▲	△	
	家電機器販売	▲	▲	▲	▲	△	▲	
	メガネ販売	▲	△	▲	△	△	▲	
	中古自動車販売	○	▲	○	△	△	○	
	石油製品販売	△	○	▲	△	△	△	
商店街	共同店舗(飛騨)	○	▲	▲	△	△	▲	
	生花販売	△	○	△	△	○	△	
	岐阜市商店街	△	▲	▲	△	△	△	
	大垣市商店街	△	△	△	△	△	△	
	高山市商店街	△	△	△	△	△	△	
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲	
	長良川畔旅館	○	△	○	△	△	△	
	下呂温泉旅館	△	△	○	△	△	△	
	高山旅館	○	△	△	△	△	△	
	クリーニング	▲	△	△	△	△	△	
	広告美術	○	▲	○	△	△	△	
	飲食業	△	△	△	△	△	△	
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△	
	建設業	土木(岐阜地区)	△	△	▲	▲	△	▲
土木(飛騨地区)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
建築設計		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
鉄構造物		○	○	△	▲	▲	▲	
電気工事		○	△	△	△	△	△	
管設備工事		△	△	▲	△	△	△	
建築板金		△	△	△	△	△	△	
木製建具		△	△	△	△	△	△	
木造建築		▲	△	▲	△	▲	○	
運輸業		貨物運送(県域)	△	△	▲	△	△	△
	軽運送	△	▲	○	▲	▲	○	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]  
 △: [不変]  
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

※中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)を対象にまとめたものです。

頑張っている仲間達

## 中央会の会員組合を紹介します！

今回の会員組合紹介は、昨年度、岐阜県中央会の職員と専門家が組合を訪問し、先進的なノウハウ等について情報収集を行った2組合をご紹介します。

各県の組合が取り組んだ先進的事例については、全国中央会ホームページをご覧ください。

<http://jirei.chuokai.or.jp/NewJirei/Default.aspx>



### 【地場産業の先進事例】（新製品開発、新用途開発、新販路開拓）

#### ～地域資源（山岡細寒天）を活用した新商品開発と販路開拓～

##### 〈ポイント〉

新製品開発は産学官連携によりヘルシーをコンセプトとした新しい寒天食材を開発する。販路開拓は認知度向上策の実施と、コーディネート事業により行う。

##### 【背景と目的】

岐阜県寒天水産工業組合が立地する岐阜県恵那市山岡町は、少雨で寒暖の差が大きく寒天生産に最適な気象条件が揃っている。最盛期には100社以上の寒天製造業者が創業していたが、現在は21社に減少し伝統ある山岡細寒天製造業者の事業継承は厳しい現状にある。そんな中、「山岡細寒天（地域団体商標取得）」がマスコミに取り上げられた事で、岐阜女子大学との産学連携に成功した。消費者感覚を持つ学生との共同研究や寒天の里ヘルシーハウス山岡での寒天商品の販売実績等により、ヘルシー食材として「寒天のニーズが高い」と考え、地域資源である山岡細寒天を活用した新商品開発と新たな販路開拓への取組みを行うこととなった。

##### 【事業・活動の内容】

岐阜女子大学家政学部健康栄養学科との産学連携により「お菓子」「料理」「健康食」をコンセプトとした新しい寒天食材である「寒天ムース」（豆乳・サツマイモ・クリームチーズをベースに、寒天をゼラチンの代わりに使用）が完成し、洋菓子等の新分野への販路開拓を進めるきっかけとなった。

#### 岐阜県寒天水産工業組合

■理事長:中嶋一昇

■組合員数:21人 ■設立年月日:昭和50年7月

■住所:恵那市山岡町下手向1865の1 ■TEL:0573-56-2538

この他にも、今年56回を数える岐阜県寒天展示品評会の開催や、岐阜県農業フェスティバル、海外展示会出展等、組合として「山岡細寒天」の販路開拓活動を積極的に実施している。また、組合員と(財)恵那市山岡観光振興公社間のコーディネート強化し、道の駅、学校給食、デイサービスでの山岡細寒天の取扱い促進を図っている。

##### 【成果】

新製品開発・販路開拓活動の成果として、ヘルシー食材（和菓子・洋菓子・麺類等）として多様な商品アイテムの新たな販路（和菓子屋、洋菓子店、飲食業）拡大が予測され岐阜県寒天水産工業組合の活性化が期待される。また、活性化により組合員の収益が拡大されることで、設備投資（冷凍庫等）が容易となり、通年の寒天生産ができる環境の整備促進も期待される。組合員の経営安定は、後継者（現在4社のみ）への事業承継につながり、地域産業である「山岡細寒天」の製造を将来に引き継いでいく事となるものである。

### 【共同仕入・共同購入の先進事例】（子会社の活用や他機関との連携により成果を上げている事例）

#### ～地元食材を活用した地域活性化と安心・安全の取組み～

##### 〈ポイント〉

地元JAと提携し、生産者の顔が見える安心・安全な地元食材を安定確保。同時に地域（地元農業生産者）の活性化にも貢献している

##### 【背景と目的】

「奥美濃カレー」は、平成16年1月、地区内の飲食店や宿泊業者を中心にカレーをテーマに地域活性化を図ることを目的に「まちおこし事業」としてスタートした。平成17年4月にご当地味噌（郡上みそ）を隠し味に、地域に根ざした安心・安全な食材を使用し、愛情込めて各店舗が創意工夫をして作られることを条件とした「奥美濃カレー」が完成した。販売開始から4年後の平成21年（組合設立前）には、郡上市内32店舗で、個性豊かでバリエーション（71種類）豊富なカレーが勢ぞろいした。

同年4月には組合を設立し、地産地消による地域活性化と生産者の顔が見える安心・安全なカレーの食材を安定的に確保することを目的に共同購買事業を開始した。

##### 【事業・活動の内容】

食材の購入にあたっては、毎週月曜日までに組合が各組合員の注文数を取りまとめ「JAめぐみの」に発注し、その後、生産者にてトマトを除く玉ねぎとじゃがいものサイズ選別作業を行い、金曜日にはJAが各組合員へ15kg単位で配達を行っている。

なお、安心・安全な地元の食材（玉ねぎ、トマト、じゃがいも）

#### 奥美濃カレー協同組合

■理事長:滝下一徳

■組合員数:22人 ■設立年月日:平成21年4月

■住所:郡上市白鳥町中津屋929 ■TEL:0575-82-3036

を、より多く活用するため、郡上市の寒暖の差によって生じる収穫時期の違いを利用し、収穫時期の早い南部の地域から順次購入している。

また、今年度より、鹿肉を利用した「奥美濃レトルトカレー」などの新商品開発に取り組んでおり、このレトルトカレーにも地元の食材を活用することにより、更なる共同購買数量の拡大を目指している。

##### 【成果】

各食材は、市場単価とほぼ同じであるためコスト面でのメリットは少ない。しかし、平成22年度においては、地元で収穫された玉ねぎ、トマト（規格外品を含む。）、じゃがいもの3種類の食材を約1.2トン購入し、地域（地元農業生産者）の活性化に大きく貢献している。また、各組合員が経営するレストランなどへの来店者に対して、自信を持って安心・安全な商品であることを伝えることができ、奥美濃カレーの注文数も年々伸びてきている。

更に、現在取り組んでいる新商品開発が順調に推移し、商品化に至った際には、共同購買量のより一層の増加が期待できる。



# 「震災後のエネルギー 需給の動向」

株式会社共立総合研究所 調査部 主任研究員 渡邊 剛

景気全般をみると、復興需要の本格化もあり全国的に持ち直しの動きは続いています。

中部地域の主力である自動車産業は、タイの洪水の影響を脱した今年1月から挽回生産に入っていることもあり増加傾向が続いています。挽回生産終了後の反動減も想定されましたが、エコカー補助金の復活などの政策支援もあり好調に推移しています。また、主力車種（カローラなど）のモデルチェンジが重なることもあり当面は高水準の生産が続く見込みです。トヨタ自動車の2012年度の生産は、870万台と前期より約117万台増加の見通しであり、そのうち国内生産は340万台と国内生産300万台維持への強い決意を示しています。

このような状況下、全国的に懸念されるのは夏場の電力供給です。5月初旬には国内の全原子力発電所が稼働を停止しました。中部電力管内はもともと原子力発電の比率が低かったことに加え、上越火力発電所1-1号機の営業運転開始などもあり、需要を上回る供給が確保できそうです。政府の需給検証委員会でも今夏の中部電力管内の予備率（供給・需要）を5.2%と見込んでいます。ただ、原子力発電の比率が高い関西電力管内の予備率は▲14.9%になる見込みで、中部電力から関西電力への電力融通も必要になることから、引き続き節電への取り組みは必要になりそうです。また、原油やLNGなど1次エネルギー価格が高止まりすれば、発電コストが上昇し、それが電気料の値上げ、製造コスト増加につながり、企業や家計の負担が重くなる可能性があります。

原発事故を受け電力供給構造の見直しが必要など、電力が必要な分だけ供給されるという時代は終わりに向かいつつあります。今後は使う側も供給制約がある中でピークカット、ピークシフトなど「賢く使う」といった取り組みが必要になってきます。そこで、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）の蓄電池としての役割に注目が高まってい

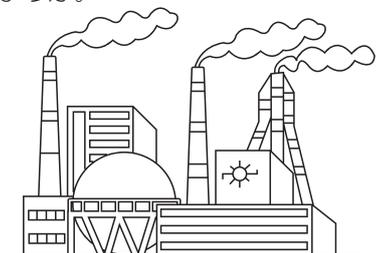
ます。

現在、EVやPHVから一般住宅への電源供給を可能とするシステムが開発されています。このシステムでは、住宅とEVやPHVをつなぐことにより、EVやPHVの大容量リチウムイオン電池に蓄えた電気を住宅へ供給することが可能となっています。

また、震災後の原子力発電の是非も含めたエネルギーの多様化に向けた議論のなかで、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの利用が提唱されています。ただ、再生可能エネルギーは、天候などに左右され出力が不安定になりがちです。そのような中、スマートグリッド（電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網）、スマートハウス（家庭でエネルギーを創り、蓄え、制御する次世代型の住宅）の中の一つの要素としてEVやPHVを蓄電池として組み込めば、再生可能エネルギーの出力を平準化することもできます。

岐阜県も「次世代エネルギービジョン」を策定し、クリーンで効率的な「次世代エネルギーインフラ」のモデルを提示しています。その中で、余剰電力を利用したEV・PHVへの充電など、EV・PHVを活用したエネルギー需給モデルの構築を進め、2020年前後に15.6万台（県内自動車登録台数の10%）のEV・PHVの普及を目指しています。

グローバル競争はますます激しくなっており、中小企業にとって厳しい状況が続いています。エネルギーや次世代自動車などは、国、県をあげて注力している分野です。こうした分野に目を向け、そこで自社で何ができるかを模索していくことが生き残りのために必要なのではないのでしょうか。



# 「再生可能エネルギー固定価格買取制度」が7月1日より始まります。

## ○「再生可能エネルギー固定価格買取制度」とは

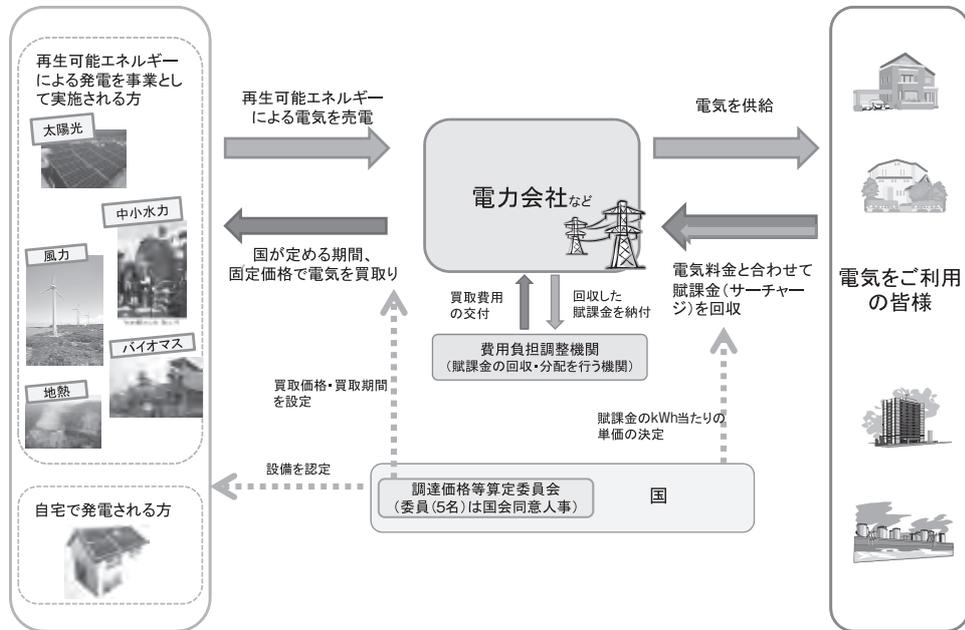
「再生可能エネルギー固定価格買取制度」は、平成23年8月26日に成立した『電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法』に基づき、再生可能エネルギー（※1）で発電された電気を、電力会社が一定期間、一定価格で買い取ることを国が約束する制度です。

電力会社が買い取るためのお金は、電力をご利用の皆様から“賦課金（サーチャージ）”という形で集められます。

ご負担いただく賦課金の単価は、全国一律です。賦課金単価は、前年度実績を基に、国が定めます。ただし、**極めて大量のエネルギーを消費される事業者の方及び東日本大震災の被災者の方**については、**賦課金が免除**されます。

なお、5月16日～6月1日まで、法施行（平成24年7月1日）に向け、パブリックコメント（意見募集）を実施中です。

## 【制度の仕組み】



## ○賦課金の電力多消費減免について

### (1) 法律上の規定

◆売上高1,000円当たりの電気の使用量（原単位）が、

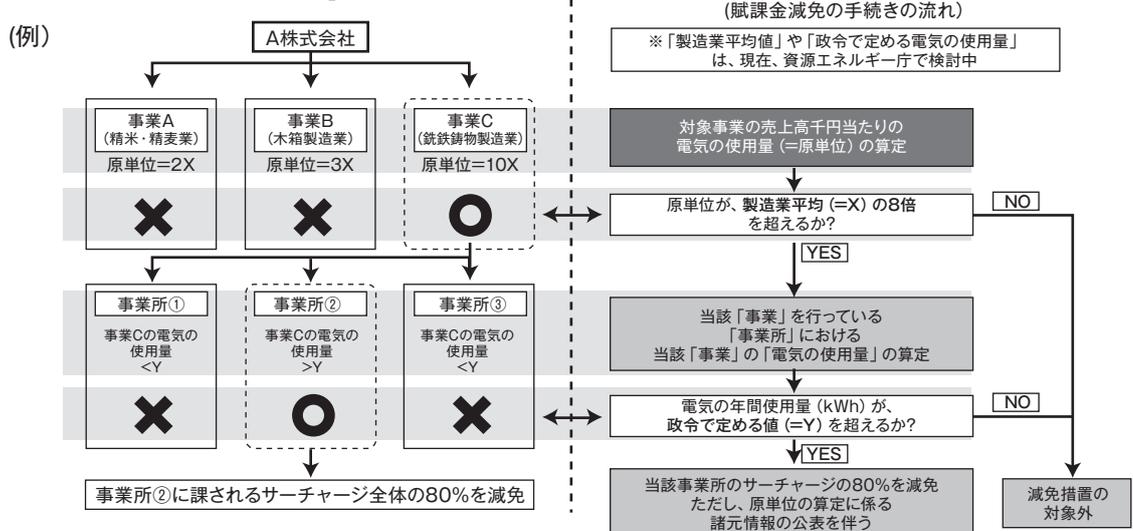
製造業の場合 = 製造業平均原単位の8倍を超える事業であること

非製造業の場合 = 非製造業平均原単位の政令で定める倍数を超える事業であること

◆原単位基準を超えた事業を行う事業所の当該事業に係る年度の電気使用量が政令で定める量を超えること

上記を満たすかどうか、事業者からの申請に基づき経済産業大臣が毎年度、年度の開始前に該当する事業所を認定する（認定を受けた事業所はその年度の賦課金が8割程度減免される）。

### 【製造業における賦課金減免の適用イメージ】



### (2) 認定手続

◆減免認定申請書、必要な添付書類の提出は、申請を行おうとする事業者が所在する地域の地方経済産業局です。

(※1) 再生可能エネルギーとは、一度設備を設置すると自然の力で繰り返し電気を生み出すことができる、いわば前前で電気を作れるエネルギー源で風力発電、太陽光発電、地熱発電、中小規模水力発電、バイオマス発電のことを言います。

# 事務局だより

## 春の叙勲・褒章、県の各界功労者表彰

2012年『春の叙勲・褒章』について、4月28日に褒章、29日に叙勲の受章者がそれぞれ発表されました。また、県の産業経済の発展等に功績のあった方に贈られる『各界功労者表彰』の受賞者に76人と4団体が選ばれ、5月16日に表彰式が行われました。なお、中央会関係者の方は以下のとおりです。

### 叙勲

#### 【瑞宝小綬章】

森本 安彦氏＝岐阜県中小企業団体中央会・元専務理事

#### 【旭日双光章】

堀部 貞夫氏＝岐阜県貨物運送協同組合連合会・理事長

岐阜県貨物運送事業協同組合・理事長

熊崎 金良氏＝岐阜県食肉事業協同組合連合会・会長

岐阜県食肉生活衛生同業組合・理事長

### 褒章

#### 【黄綬褒章】

原 明治氏＝可児自家用自動車協同組合・理事長

### 各界功労者表彰（県知事表彰）

#### 【産業経済】

加藤半一郎氏＝岐阜県陶磁器工業協同組合連合会・理事長（中央会・副会長）

齊木 克躬氏＝土岐市陶磁器卸商業協同組合・理事長（中央会・常任理事）

河村 充泰氏＝協同組合岐阜県刃物会館・前理事長（中央会・常任理事）

#### 【県行政】

廣瀬 英雄氏＝岐阜県中小企業団体中央会・学識顧問

#### 【文化・芸術】

加藤幸兵衛氏＝協同組合陶の里いちのくら・理事長

#### 【交通安全】

堀 耕二氏＝岐阜県自転車軽自動車商協同組合・理事長

#### 【女性・青少年】

市原 敬夫氏＝川崎岐阜協同組合・専務理事（中央会・常任理事）

## ○中央会・専務理事交代のお知らせ

3月31日をもって大野耕平専務理事が中央会を退任致しました。大野専務理事は、平成20年4月より、会員組合への支援強化などに取り組み、中央会の発展に貢献されました。今後のご活躍を期待致します。

また、後任には、猿渡要司（さわたり ようじ）参与が就任し、6月6日開催の通常総会で専務理事に選任される予定です。猿渡参与は、昭和48年3月に県に入庁され、農林商工部新産業労働政策課長、環境生活部長、産業労働部長を歴任し、平成20年4月に岐阜県振興局長に就任、平成22年3月に退職、同年4月より社団法人岐阜県観光連盟副会長に就任されました。

なお、本会では、「第57回通常総会」を下記の日程で開催します。今回は議案審議のほか、任期満了による役員改選を行います。会員の皆様には多数のご出席をお願い致します。

【日 時】6月6日(水) 13:30～15:30(予定)

【場 所】岐阜都ホテル 2階「ボールルーム」



## 外国人の発想・能力を生かせる職場作りは、外国人指針から ～岐阜労働局より～ 6月は「外国人労働者問題啓発月間」です。外国人雇用はルールを守って適正に。

外国人（特別永住者等を除く。）の雇入れ及び離職の際、その氏名、在留資格等をハローワークへ届け出てください。

外国人労働者の適正な雇用の推進及び不法就労の防止を図ることについて、事業主をはじめ皆様のご理解とご協力をお願いします。

《お問い合わせ先》 岐阜労働局職業対策課（TEL:058-245-1314）又は最寄りのハローワーク

## 平成25年3月新規学校卒業者 求人取扱説明会の開催 ～岐阜新卒応援ハローワークより～

岐阜新卒応援ハローワークでは、事業主を対象に新規学校卒業予定者の求人募集・選考・採用にかかる取扱説明会を開催します。

### 《日 時》

6月4日(月) 【第1回目】10時～12時

【第2回目】14時～16時

### 《場 所》

「長良川国際会議場」4F 大会議室

### 《内 容》

①平成25年3月新規学卒者の求人取扱い等について(今年度より高卒求人票の書式が変更になります)

②公正な採用選考について 他

### 《お問い合わせ先》

岐阜新卒応援ハローワーク TEL058-278-4401

## 中央会日誌

### <3月21日～31日>

21日 愛三岐中央会意見交換会(愛知県中央会)

22日 全国中央会 第206回理事会、第2回臨時総会(ANAインターコンチネンタルホテル東京 中小企業支援ネットワーク強化事業 第2回全体運営会議(ウインクあいち) (財)岐阜県産業経済振興センター 平成23年度通常理事会(ふれあい会館)

23日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)

26日 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会 第3回常任委員会(ふれあい会館)

### <4月1日～30日>

6日 岐阜県酒造組合連合会 第19回岐阜県新酒鑑評会(グランヴェール岐山)

10日 岐阜県中小企業資金融資制度説明会(県庁)

16日 中央会 正副会長会(水琴亭)

18日 地域経済情報交換会(県庁)

23日 中央会レディースクラブ理事会(ふれあい会館)

24日 就職マッチングフェア(じゅうろくプラザ)

26日 中央会 理事会(グランヴェール岐山)

### <5月1日～20日>

10日 青年中央会 第38回通常総会



## 岐阜県中央会からのお知らせ

### 組合の課題解決に専門家と一緒に取り組みます!

#### ■ 組合等ブラッシュアップ支援事業 ■

本会では、組合及び組合員が抱える課題について、専門家と本会職員が一緒になり課題解決を図り、円滑な事業活動を支援します。

#### ○ 主な支援内容

ものづくり、新分野進出、新事業創出や市場・販路開拓などへの対処

農商工連携、地域活性化、地域製品のマーケティング、地域ブランド創出や地域団体商標登録などへの対処

ホームページ活用、販売・在庫管理のシステム化などへの対処

労働問題への対処  
(人材確保・育成、高齢者雇用など)

環境問題への対処  
(省エネ、再資源化、公害対策など)

組合活性化・ビジョン策定への対処

### 中小企業の経営課題解決に様々な専門家が活用できます!

#### ■ 中小企業支援ネットワーク強化事業 ■

本会では、中小企業が抱える経営課題への支援体制を強化するために、昨年度に引き続いて「中小企業支援ネットワーク強化事業」を実施しています。

この事業では、豊富な知識・実績を有するアドバイザー（中小企業診断士等）により、中小企業の経営課題の解決を支援します。

#### 《こんな悩みはありませんか》

- ・国の認定（地域資源活用、農商工等連携、新連携）を活用した新事業展開を考えている。
- ・経営革新計画を県に申請したい。
- ・息子に経営を譲りたいので、事業承継計画をつくりたい。
- ・創業までの準備や事業計画づくりの相談をしたい。
- ・経営の効率化のため、ITを利用したい。
- ・現在の事業と全く違う事業展開を考えている。
- ・売上が伸び悩んでいる。どうしたら良いか相談したい。
- ・その他の経営上の様々な課題について相談したい。

まずは、岐阜県中小企業団体中央会へご相談下さい。(申込書不要、費用無料)

#### ◆ 問合せ先 ◆

岐阜県中小企業団体中央会

組織支援チーム (TEL 058-277-1101)

E-mail info@chuokai-gifu.or.jp